

### 【大矢の社会科提案】

## 様々な立場の工夫や努力，協力の様子を総合して， よりよいまちづくりの概念をとらえる子ども

### 【提案：その1】4年生の社会科学習で目指す姿

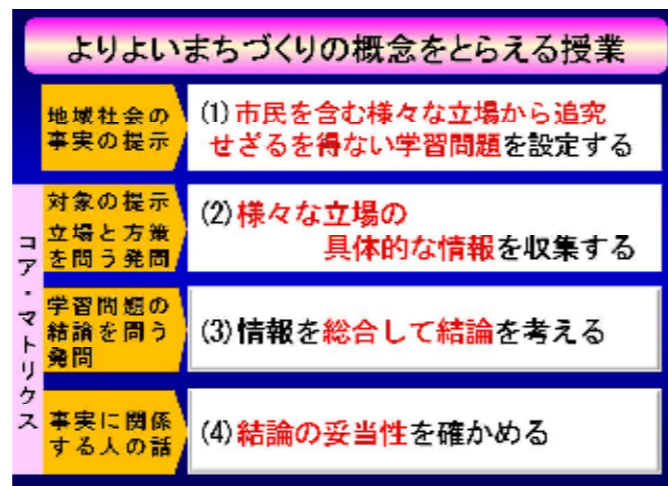
4学年の社会科で「よりよいまちづくりの概念を獲得する子ども」を目指します。  
 具体的には、「関係機関や従事する人だけではなく、自分たち市民を含めた地域のみ  
 なで工夫や努力，協力をすることでよりよい社会が形成される」という概念をとらえ  
 せていきます。この概念は、事象や事例が変わっても転移・応用できる中心概念  
 です。この概念をとらえさせることで、今、社会科で求められている、「よりよい  
 社会の形成に参画する資質や能力の基礎」を培うことができると考えます。

### 【提案：その2】目指す姿に迫るための授業モデル

関係機関や従事する人の工夫や努力，協力の様子を追究させるだけでは目指す  
 姿に至りません。

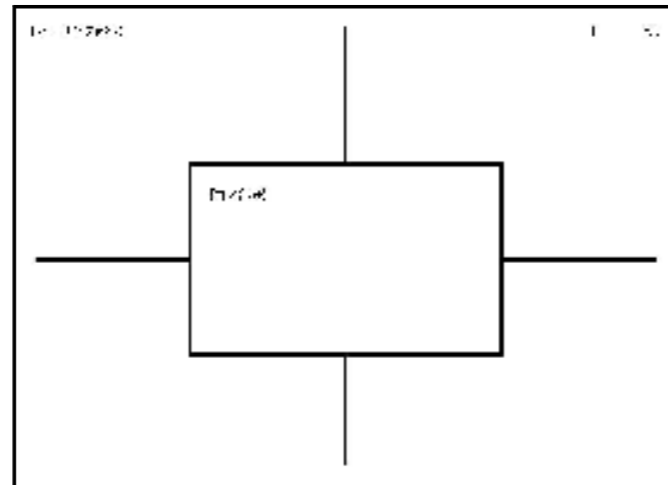
大切なのは、「市民の社会参画の様子や必要性に気付かせること」です。

そのための授業モデルが右の図です。  
 「対象」のポイント、子どもが様々な立場の工夫や努力，協力の様子を見  
 出せるようにすることです。そうすることで、子どもは多面的、多角的に情報  
 を収集することができます。



### 【提案：その3】中心概念に迫る、「コア・マトリクス」

「コア・マトリクス」とは、情報の整理・分析を促し、学習問題について多面的・多角的に考えたり、情報を比較・関連付け、総合して考えたりすることができるように考案したオリジナルの思考ツールです。個人でも、グループでも、全体でも活用できます。マトリクス部分（外側）に情報を分類した後、コア部分（中心）を考えます。思考が可視化されるので、考え方の自覚にも有効です。社会的な見方や考え方を養うことができます。



### 【提案：その4】授業のふり振り返り「社会科日記」

学習後の宿題として、①学習したこと、分かったこと、考えたこと ②考え方のこつを必ず入れて書くように指導します。継続して行うことで、子どもは自分の学習過程や考え方を自覚することができるようになります。

- ※ 本時、及び本単元の授業については、別紙「指導案」「指導計画」をご参照ください。
- ※ シェアリングタイムでは、本時の授業における子どもの姿を基に、働き掛けの有効性や改善点などについてご意見ください。よろしくお願ひします。
- ※ 別紙「4学年1組社会科シェアリングタイムシート」をご確認ください。

## 【2日目：2月6日（金）】本時の提案

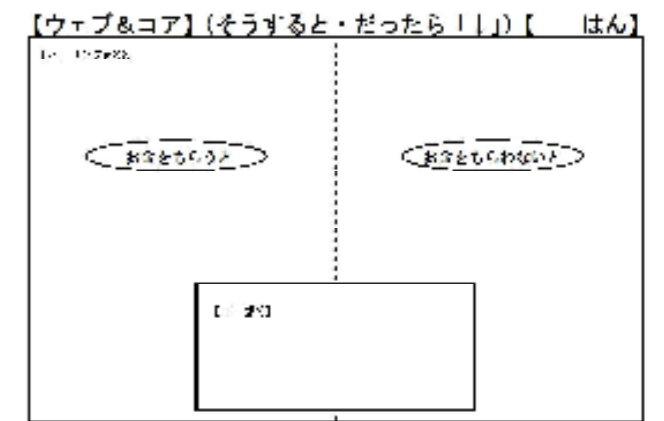
### 【提案：その1】みんなの学習問題の設定

子どもの既有的認識にずれを生むように、2つの事実を順番に提示します。子どもは、驚きや疑問を感じます。このような子どもに「これからみんなで考えたいこと」を問うことで、子どもは驚きや疑問を関係付け、みんなの学習問題を設定します。

### 【提案：その2】NEW! ウェブ&コア・マトリクス

コア・マトリクスの進化形、「ウェブ&コア・マトリクス」です。マトリクス部分は2つの状況を想定し、考えを広げたり、つなげたりしていくことができます。子どもは、「対象」の情報や既習の知識、生活経験を基に考えていきます。

その後、コア部分にあたる、学習問題についての結論を問うことで、子どもはマトリクス部分の情報を総合して考えていきます。思考の方向付け、可視化～自覚化を意図して考案したNEW思考ツールです。



### 【提案：その3】グループでの「対話」

2日目は、グループで「ウェブ&コア・マトリクス」を使って考える学習活動がメインです。「ウェブ&コア・マトリクス」を使わせることで、子どもの「対話」を生み出します。子どもは、友だちの考えを分かろうとして聴き、新たな考えを創り出していきます。

### 【シェアリングタイム メモ】

☆ 本日はご参会いただき、たいへんありがとうございました！  
 また来年度もお待ちしております。社会科の授業について語り合ひましょう。